



新小山市市民病院ニュースレター

Shin-kyama City Hospital News letter

Vol.47

1 副院長挨拶 ～ 患者の呼称は『患者さん』『患者さま』？ ～

今さらの感はありますが、皆さんは診療の現場で『患者さん』と『患者さま』どちらを使っているのでしょうか。

私が医者になった当時は『患者さん』と呼ぶのが当たり前（慣例）でしたが、いつの日か『患者さま』と言う人が増えてきました。

調べてみると、平成13年の厚生労働省の通達に「国立病院・療養所における医療サービスの質の向上に関する指針」の中の「患者との接遇態度や言葉使いの改善」の項目で、『患者の呼称の際、原則として姓名に「さま」を付することが望ましい』（アンダーラインは筆者が追記）というものがあり、これが『患者』にも『さま』を付けるようになった要因と言われています。

患者とは、不幸にも病気を患った人を指す言葉であり、似たような状態として被災者や被爆者が挙げられると思います。『さま』を付ければ丁寧に呼んでいるつもりかもしれませんが、『被災者さま』や『被爆者さま』と呼ばれて、当事者は快く思うでしょうか？逆に当事者を馬鹿にした表現とも受け取れます。また、『さま』付けで呼ばれることで勘違いする人もいます。私は医療安全対策部部長という立場から、患者とのトラブル対応にも関わっているのですが、患者からの忘れられない一言があります。それは怒りで興奮した女性患者（正確には患児の保護者）が「私達は『患者さま』なんですからね！」と言ったのです。これも医療者が患者を持ち上げるような呼び方をしているための弊害だと思います。

当院では患者の呼称は『患者さん』に統一しているのですが、未だに『患者さま』を使う職員がおります。どうにも気になってしまうため、その都度、上記のような例え話をして呼称を改めるように指導しています。

一方で、製薬会社のほぼ全てのMRが『患者さま』表現を使用しています。製薬会社にとって患者はお客様扱いなのだろうと諦めて聞いていますが、先日、某学会理事長がSNSで声明文を発表していた中で『患者様』表記を使用していましたし、医局に置いてあった某病院の広報誌に『患者様』表現を使用している施設もあり、『患者さま』表現はなかなか無くならないだろうなとも感じています。

令和6年12月 副院長・消化器内科部長・医療安全対策部長 田野茂夫

2 TOPICS ～ 年末年始の診療体制のご案内 ～



令和6年12月27日（金）通常診療

令和6年12月28日（土）～ 令和7年1月5日（日）休診

令和7年1月6日（月）通常診療



但し、急患の方はこの限りではありません。

救急外来を受診される場合は必ずお問い合わせいただき、診療が可能かどうかをご確認ください。休日夜間受付（0285-36-0290）

救急車等の受入状況や患者さんの症状等により他の医療機関をご案内させていただく場合があります。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



目次:

副院長挨拶	1
新任医師紹介	2
学会活動報告	3
共同利用について	4
連携協議会総会	5
お知らせ	6

ハイライト

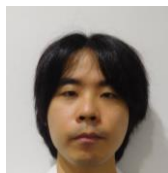
- 10, 11月に新任医師が入職しましたので紹介します
- 市政功労者表彰受賞！
- 別館を増設します！
- 学会に参加してきました！
- 患者支援センターから、紹介・逆紹介率等の報告です

分からないこと、質問等ございましたら、いつでも、医療連携室までご連絡ください。



ドクターの紹介

10月に1名、11月に1名、新たに医師が入職しました。



脳神経内科
森 昭人

令和6年10月より脳神経内科に赴任しました、森 昭人（もり あきと）と申します。杏林大学医学部を卒業後、自治医科大学附属病院で初期臨床研修を終了し、同脳神経内科へ入局いたしました。

小山地区医師会の先生方のご支援ご指導のもとで地域医療に少しでも貢献させていただきたく存じます。至らぬ点多々あるかと存じますが、誠心誠意励みたいと考えております。ご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



脳神経内科
副部長
三浦 久美子

令和6年11月から新小山市市民病院脳神経内科に赴任しました、三浦 久美子（みうら くみこ）と申します。

三重大学を卒業後、自治医科大学の救急科、神経内科にて、臨床中心に携わって参りました。その後2年間、診療所で地域医療を経験し、連携の大切さについて学びました。

今後も救急医療、一般内科、神経疾患の治療について、小山地区医師会の先生方と連携させていただけますと幸いです。微力ではございますが、県南地域医療に貢献できるように尽力して参ります。何卒よろしくお願い申し上げます。



～ 島田病院長 市政功労者表彰受賞 ～



10月27日（日）小山市文化センター大ホールで市制70周年の記念式典が開催され、島田 和幸 病院長が市政功労者表彰を受賞しました。

島田先生が就任して以来、たくさんの改革を起し、たくさんの業務改善が行われ、小山地区医師会の先生方にも信頼される病院へと生まれ変わってきました。患者さん目線、職員目線どちらからも満足を得てきたと実感しております。さらに邁進していく所存ですので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



別館建設事業に着手します！①



地域の先生方のご期待に益々お応えし、今後も質の高い医療をタイムリーに提供することにより地域完結型医療の更なる充実を図るため、手術室増設（ロボット手術、日帰り手術）と外来拡大（歯科口腔外科新設）を2本柱とした施設の増強に着手いたします。

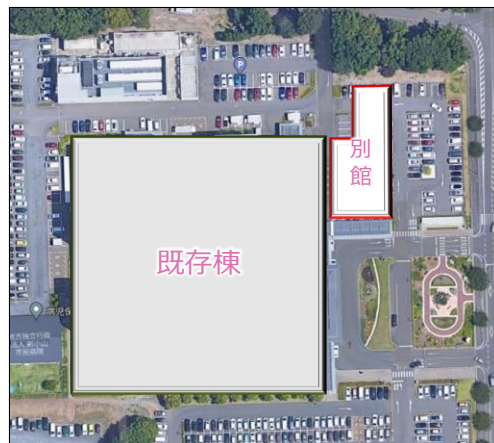
主な設備内容

- ◆ 手術室2室（ロボット手術、日帰り手術）
- ◆ 外来拡大（歯科口腔外科新設）
- ◆ 大会議室（一般利用や災害対応も想定）

※ 現在の本館の北東に接続

スケジュール

- 工事期間 令和7年夏頃から令和8年夏頃まで
- 使用開始 令和8年夏頃から秋頃を予定



工事期間中は、駐車場の縮小や騒音等、ご迷惑をおかけすることになると思われませんが、現在の診療内容には影響（変更や縮小等）が出ないように進めてまいります。

当院がより良い病院になるためのステップですので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

工事の進捗については、このnewsletterで随時お知らせいたします。



学会活動報告 ～ 臨床検査部門 編～



◆ 学会発表を行いました！

11月24日に、第42回栃木県医学検査学会 ～ 世代を超えて 受け継ぐ力 つながる未来 ～が自治医科大学で開催され、当院 臨床検査部門から松本貴宏臨床検査技師が「タスク・シェアにおける内視鏡検査業務への取り組み」についての演題発表を行いました。

2021年の法改正により、臨床検査技師が生検鉗子を用いて消化管の病変部位から組織の一部を採取する行為が可能となりました。当院では、タスク・シェアの一環として、昨年度より臨床検査技師が人間ドックの上部内視鏡検査の介助を行う取り組みを始めました。この取り組みにより、内視鏡検査室の稼働部屋数を増やすことができ、内視鏡検査件数の増加に繋がりました。



第42回栃木県医学検査学会

世代を超えて
受け継ぐ力
つながる未来

会期：令和6年11月24日（日）

会場：自治医科大学 医学部 教育研究棟

〒329-0498

栃木県下野市薬師寺 3311-1

TEL：0285-44-2111（代表）

学 会 長：日高 裕介（自治医科大学附属病院）

実行委員長：山崎 義則（芳賀赤十字病院）

主 催：（一社）栃木県臨床検査技師会

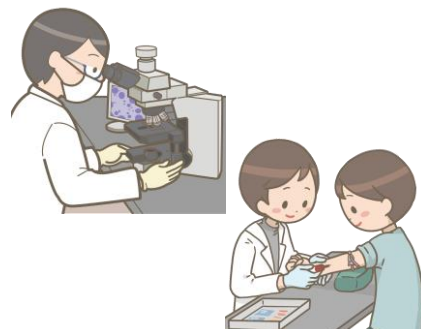
第8会場：中教室3（演題番号 40～45）

座長：那須赤十字病院 田村 勝幸
自治医科大学附属病院 土谷 こずえ

- 40 本校の臨地実習前技能修得到達度評価における
臨地実習への効果について
栃木県立衛生福祉大学校 谷口 幸江
- 41 パニック値報告における現状と改善に向けた検討
国際医療福祉大学病院 加藤 大輔
- 42 **タスク・シェアにおける内視鏡検査業務への取り組み**
新小山市民病院 松本 貴宏
- 43 タスク・シフト/シェアを活用した早朝病棟採血の導入
宇都宮記念病院 辻 倖花
- 44 外来診療支援を目的とした採血業務の運用改善
済生会宇都宮病院 柏崎 公伸
- 45 災害教護における臨床検査技師の役割
那須赤十字病院 伊井 笙

臨床検査技師が内視鏡検査業務を行っている施設は未だ少なく、学会での演題発表を通して当院での取り組みを他施設に伝えることができ、内視鏡検査についても深く学ぶことができた良い機会となりました。

今後も内視鏡検査を通して、病気の早期発見・早期治療に貢献できるよう取り組んでいきたいと思ひます。



医療機器購入！



医療機器購入報告 ～ 放射線部門 編～



◆ 2024 年 9 月に骨密度測定装置を更新しました！

「骨粗鬆症の予防と治療のガイドライン 2015」では、骨粗鬆症診断は DXA 法を用いて、腰椎と大腿骨近位部の両者を測定することが推奨されています。2022 年度診療報酬改定で新設された二次性骨折予防管理料をみても、骨粗鬆症ひいては骨密度測定が注目されていることがわかります。

当院も従来の機器では前腕骨で測定していましたが、今回骨密度測定装置の入れ替えに伴い、腰椎と大腿骨近位部で測定する最新鋭の骨密度測定装置 GE ヘルスケア製 PRODIGY Fuga を購入しました。その利点は、高い精度、測定値が骨折リスクと相関することなどがあり、骨粗鬆症診療では不可欠な検査となっています。原発性（椎体・大腿骨近位部）骨粗鬆症診断、治療開始の判定、骨折リスクの評価、骨粗鬆症治療薬投与後の効果判定などにご活用頂けます。当院でも、骨粗しょう症の予防、診断および治療に積極的に取り組んでおります。検査は、開業医の先生方からも随時予約を承っておりますので、共同利用で是非お役立てください。



骨密度測定装置

PRODIGY Fuga



放射線科直通（☎0285-36-0261）に

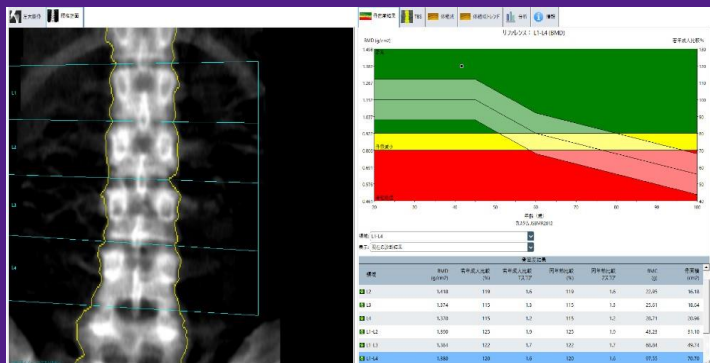
電話をし、『共同利用であること』、『検査モダリティ（CT, MRI 等）』を伝え、検査予定日時をご確認ください。

また、撮影指示書(当院ホームページ→各種書類ダウンロード→医療機関務向け各種書類→⑧撮影指示書)に記載をお願いします。該当する患者さんがいらっしゃいましたら、是非ともご紹介いただきますようお願いいたします。

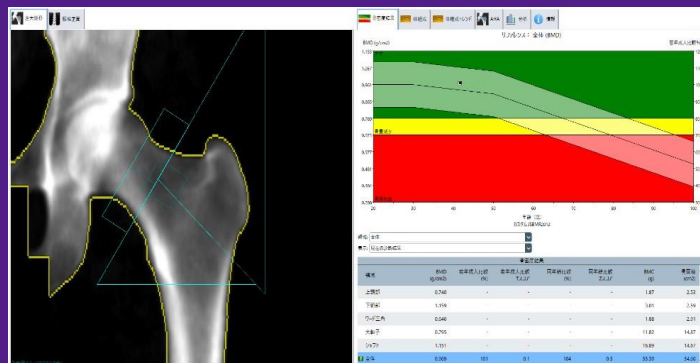
今後とも医療技術の向上を図り、患者さんの立場に立った医療に努めてまいります。

骨密度測定検査について

- ◆骨折すると多大な苦痛を強いられる脊椎部、大腿骨部の骨密度を直接測定することができます。
- ◆測定は約10分以内で、痛みもありません。お気軽に当院スタッフまでお申し付けください。



腰椎



大腿骨

令和6年度小山市近郊地域医療連携協議会 総会を開催しました！

日 時 10月29日（火）午後6時30分～午後7時30分
場所 新小山市民病院 2F さくらホール
出席者 55名

10月29日（火）に、令和6年度小山市近郊地域医療連携協議会の総会を行いました。

「小山市近郊地域医療連携協議会」は、小山市近隣の県外も含めた15病院で構成されています。

総会では、議事の他に各部会（医師部会、看護部会、連携部会、医療技術部会、事務部会）からの報告、会員病院で新たに院長に就任された 野木病院 齋藤 修 先生のご挨拶や、会員病院の近況を今年は小山整形外科内科、リハビリテーション翼の舎病院、小金井中央病院の3病院から報告していただき、連携病院内での情報共有を図りました。

また、15病院間における機能別受け入れや、人材交流も含めた高齢者救急の在り方についても提案され、ますます当協議会の重要性を確認することができました。

今後もより一層連携を深め、小山市近郊地域における医療提供体制の充実を図りたいと思います。



小山整形外科内科



リハビリテーション翼の舎病院



小金井中央病院



【近況報告】

小山整形外科内科
リハビリテーション翼の舎病院
小金井中央病院

新たに院長に就任されました
野木病院 齋藤 修 先生
にご挨拶いただきました。

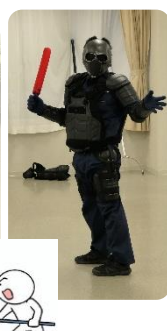


「患者と職員（自分自身）を守るため、防犯研修会を開催しました！！」

不審者や粗暴者への初期対応では、自分の身を守るためにも、現場の職員自らの護身行動が重要となります。さすまた等の防犯用品は、重要な護身用具となりますが、誤った使い方では機能を十分に発揮することができません。

今回は、防犯の専門家を講師に迎え、正しい使い方を学ぶことで、緊急時の対応力を高めることを目的に実施しました。

当日は多くの女性職員も参加し、何種類かの防犯用品を実際に使用して、使い方を勉強しました。



患者支援センター

(受付時間 平日 8:30~17:15)

医療連携室：

0285-36-0252

(緊急の患者紹介・転入相談・
その他地域連携に関すること)

予約専用ダイヤル：

0285-36-0254

(もの忘れ外来・内科・脳神経
内科・循環器内科の受診予約・
胃カメラ・心エコー・腹部エコー
などの検査予約)

医療相談室：

0285-36-0256

(医療相談・退院調整に関するこ
と・MSWに連絡・その他、外来患
者の各種相談に関すること)

FAX：

0285-36-0352

メール：

renkei@hospital.oyama.tochigi.jp

※メールでも受付しております。



地方独立行政法人 新小山市市民病院

〒323-0827

栃木県小山市神鳥谷 2251 番地 1

☎ 0285-36-0200 (代表)

ホームページ

<http://hospital-shinoyama.jp/>

看護師採用サイト

<http://hospital-shinoyama.jp/nurse/>

Facebook

<https://www.facebook.com/shin.oya.ma.city.hospital>



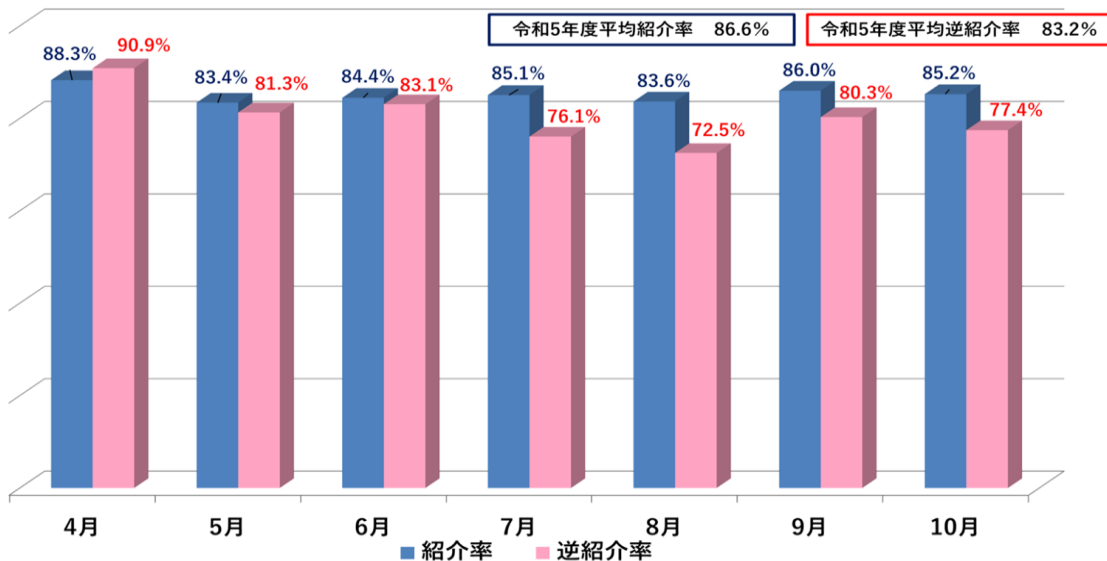
独法化10周年を
記念して記念誌を
作成しました。
ぜひご覧下さい。

患者支援センターからのお知らせ



いつも当院運営にご理解、ご協力頂きありがとうございます。
4月~10月計は、前年比で紹介患者数322人増でした。

令和6年度 紹介率・逆紹介率



第50,51 回 地域完結型医療・連携の会WEBライブセミナー

地域完結型医療・連携の会 WEBライブセミナーにご参加いただきありがとうございます。
地域完結型医療・連携の会では、紹介患者さんの症例報告・検討を通じ
て、診療情報や当該疾患の診断治療法を紹介し、情報交換の機会となっています。

次回、「第52回 地域完結型医療・連携の会 WEBライブセミナー」は、来年
1/16(木)に開催します。皆様の参加をお待ちしております。



- ・日時 9月19日(木) 19:15~
- ・座長 川上副院長
- ・症例報告者、症例
脳神経内科 亀田医師
外静注血栓溶解療法 (rt-PA) により後遺症なく
退院した92歳女性 ~rt-PA承認から19年~
糖尿病・代謝内科 堀越医師
高血糖患者への外来での食事指導
眼科 高橋医師
糖尿病網膜症
・院外参加者 24名



- ・日時 11月21日(木) 19:15~
- ・座長 宮脇副院長
- ・症例報告者、症例
脳神経外科 紺野医師
脳神経外科領域における症例 特発性正常圧水頭症
心臓血管外科 久保医師
脳梗塞を契機に発見された左房粘液腫の一例
泌尿器科 熊丸医師
当科にご紹介頂いた放射性膀胱炎の症例
・院外参加者 31名

地域完結型 医療・連携の会

奇数月、
第3木曜日 19:15
オンライン(Zoom)にて
開催しています。

次回 1/16(木)
19:15 スタート

ポットラック カンファレンス

偶数月、
第1火曜日 19:15
オンライン(Zoom)にて
開催しています。

12/3, 2/4

	日 程	症例報告
第52回	令和7年 1月16日(木)	循環器内科・呼吸器内科・腎臓内科
第53回	令和7年 3月13日(木) ※第2木曜日	消化器内科・外科・小児科